



## PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年2月5日  
常石造船株式会社

常石造船のロングセラー“TESS”シリーズが累計600隻竣工を達成！

—40年にわたり進化を続けるエコシップ—



写真①：TESSシリーズ累計竣工600隻となるTESS64 AEROLINE “DORIC FLAME”

常石造船株式会社（本社：広島県福山市、代表：代表取締役社長執行役員 奥村幸生）は、フィリピンの造船拠点である TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU), Inc.（以下、THI）において、ロングセラーを続けるエコシップばら積み貨物船“TESS”シリーズの600隻となる「DORIC FLAME（ドリック・フレイム）」を、2026年2月3日（火）に引渡しました。

“TESS (Tsuneishi Economical Standard Ship)”シリーズは、その名称が示す通り、燃費性能に優れた経済性と汎用性の両立を実現することで、1984年の1番船竣工以降お客様に長く愛され続けている当社を代表するブランド



です。

ハンディマックス・バルカーの主流が3万6,000 重量トンだった時代に、他社に先駆けて4万重量トン型のTESS40を市場に投入し、欧州を中心とした船主に評価されマーケットを広げていきました。またそれまで造船業界で一般的であった「オーダーメード」型の生産を、市場調査に基づき“標準船型”を策定することで「レディーメード」型に変え、造船所がスタンダードモデルを取り揃えてお客様の用途に合わせてソリューションを提案するというビジネススタイルを確立する革新性を備えていました。

その後 TESS45、TESS52、TESS58 などバリエーションを増やし、2019年11月には竣工500隻目を達成。600隻目となる本船は丸みを帯びた流線形状船首が特徴となる“TESS64 AEROLINE”（6万4000 重量トン型ばら積み貨物船）で、従来型比 10% の風圧抵抗低減を実現しています。加えて、エンジンの燃焼効率を向上する FAIS\*や電子制御エンジンの搭載で燃費性能を高め、従来の TESS58 に比べて燃費効率が約 20% 向上しています。環境性能と経済性を高い次元で両立することで、脱炭素化が進む海運業界においても、お客様の価値向上に寄与いたします。

〈常石造船 代表取締役社長執行役員 奥村幸生のコメント〉

「このたび、当社の代表的なばら積み貨物船である“TESS”シリーズが、フィリピン・THIにおいて600隻目という大きな節目を迎えられたことを、大変誇りに思います。1984年以来、TESSシリーズは“経済性と汎用性を備えた標準船型”というコンセプトのもと、お客様の声と市場ニーズに真摯に向き合いながら進化を重ねてまいりました。その歩みの積み重ねが、40年以上世界中の船主の皆さんに選ばれ続けてきた理由だと考えています。常石造船はこれからも、長く愛され、信頼される船づくりを通じて、世界の海上輸送を支え続けてまいります。」

\*FAIS (Fresh Air Intake System)：エアダクトにより船外から直接外気を取り込みエンジンの燃焼効率を高める給気方式。従来方式と比べエンジンの給気温度を10度程度下げる効果がある。

#### ■竣工 600隻目の本船概要

- ・船名：DORIC FLAME（ドリック・フレイム）
- ・建造場所：TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU), Inc.
- ・船主：DORIC FLAME NAVIGATION INC.
- ・船種：ばら積み貨物船（TESS64 AEROLINE）
- ・全長：約 200m
- ・幅（型）：32.26m
- ・深さ（型）：18.6m
- ・載貨重量トン数：約 63,300MT
- ・総トン数：約 36,000



写真②：TESS シリーズ累計竣工 600 隻目となる TESS64 AEROLINE “DORIC FLAME”



写真③：TESS シリーズ累計竣工 600 隻目となる TESS64 AEROLINE “DORIC FLAME”

## ■常石造船株式会社

常石造船（本社：広島県福山市沼隈町常石 1083 番地）は、造船・海運業を中心に事業展開する常石グループの中核会社で、船舶の建造と修繕を営んでいます。国内の常石工場（本社）とフィリピン、中国の海外工場を拠点に、ばら積み貨物船、コンテナ運搬船、タンカーなどを建造しています。

企業サイト：<https://www.tsuneishi.co.jp/>

代表者：代表取締役社長執行役員 奥村幸生

事業内容：船舶の建造、修繕

創業：1917年（大正6年）7月

資本金：1億円

従業員：847人（2026年1月1日時点）

造船事業関連会社：

TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU), Inc.（フィリピン・セブ）

<http://www.thici.com/>

常石集団（舟山）造船有限公司（中国・浙江省）

<https://www.tsuneishi.co.jp/tzs/chinese/>

常石鉄工株式会社（広島県福山市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/iron-w/>

常石エンジニアリング株式会社（広島県福山市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/engr/>

常石三保造船株式会社（静岡県静岡市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/miho/>

常石呉ドック株式会社（広島県呉市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/kure/>

常石ソリューションズ東京ベイ株式会社（東京都港区）

<https://www.tsuneishi.co.jp/tokyobay/>

常石由良ドック株式会社（和歌山県日高郡）

<https://www.tsuneishi.co.jp/yura/>

常石造船昭島研究所株式会社（東京都昭島市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/akishima/>

－ 本件に関するお問い合わせ先 －

常石グループ株式会社

コーポレートコミュニケーション部

メール：pr@tsuneishi.com

TEL：084-987-4915